

船橋市の財政状況

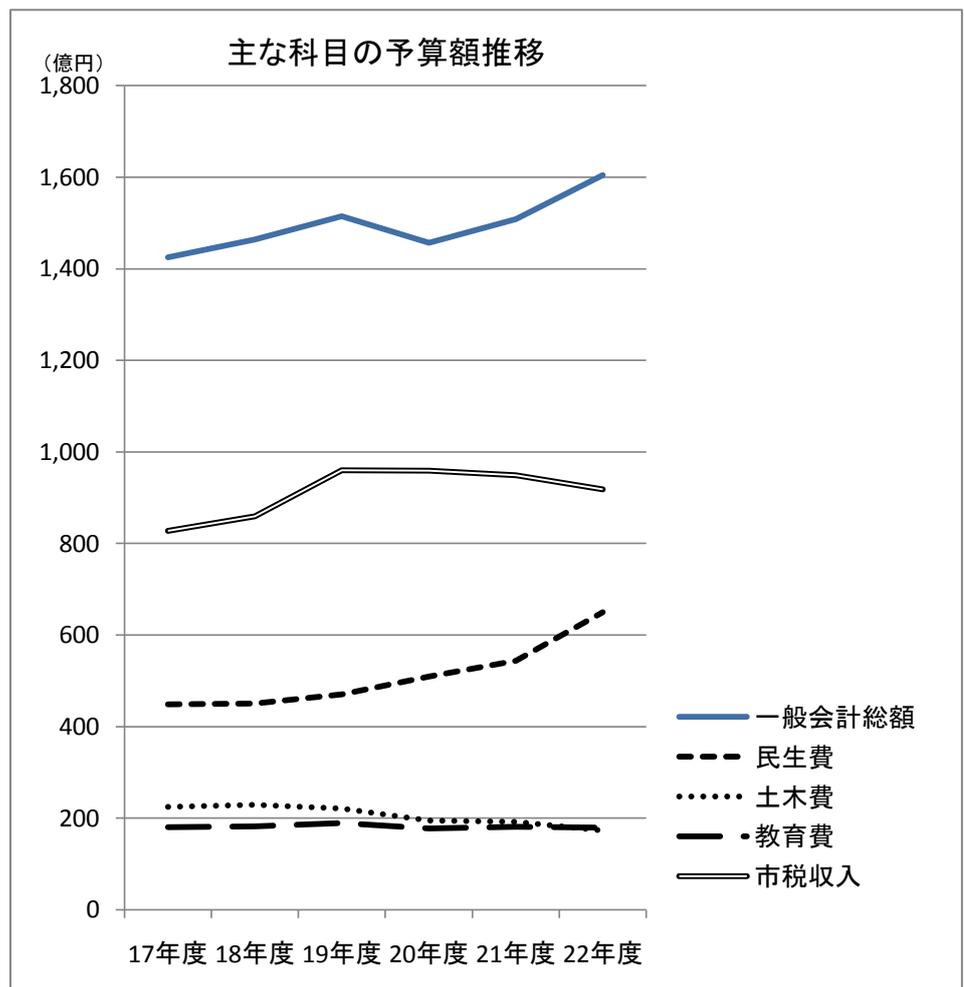
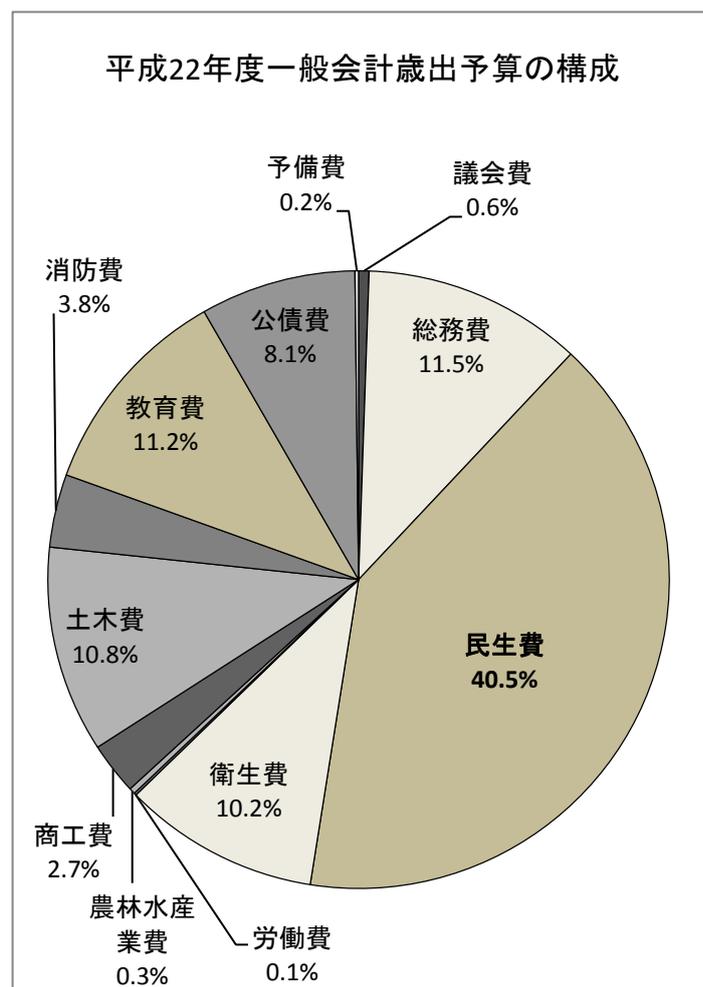
一般会計当初予算額対前年度比較

(単位：千円，%)

	平成20年度			平成21年度			平成22年度		
	予算額	増減額	伸び率	予算額	増減額	伸び率	予算額	増減額	伸び率
一般会計総額	145,640,000	△ 5,820,000	△ 3.8	150,800,000	5,160,000	3.5	160,460,000	9,660,000	6.4
主な歳入	市税	95,890,100	△ 90,000	94,953,500	△ 936,600	△ 1.0	91,844,400	△ 3,109,100	△ 3.3
	国庫支出金	15,322,700	387,400	16,025,400	702,700	4.6	24,632,300	8,606,900	53.7
	県支出金	5,079,600	△ 52,900	5,169,100	89,500	1.8	6,908,400	1,739,300	33.6
	市債	6,305,400	△ 3,969,100	8,860,600	2,555,200	40.5	10,630,100	1,769,500	20.0
歳出	議会費	874,300	△ 3,100	872,900	△ 1,400	△ 0.2	870,500	△ 2,400	△ 0.3
	総務費	17,546,800	341,800	18,151,400	604,600	3.4	18,333,100	181,700	1.0
	民生費	50,912,000	3,877,400	54,378,000	3,466,000	6.8	65,022,600	10,644,600	19.6
	衛生費	16,093,600	△ 6,304,300	16,636,500	542,900	3.4	16,406,700	△ 229,800	△ 1.4
	労働費	263,200	△ 2,500	267,100	3,900	1.5	197,100	△ 70,000	△ 26.2
	農林水産業費	530,200	△ 17,600	528,600	△ 1,600	△ 0.3	505,900	△ 22,700	△ 4.3
	商工費	3,169,000	62,100	3,709,800	540,800	17.1	4,359,700	649,900	17.5
	土木費	19,495,400	△ 2,609,300	19,212,500	△ 282,900	△ 1.5	17,353,800	△ 1,858,700	△ 9.7
	消防費	6,130,100	△ 170,300	6,249,300	119,200	1.9	6,136,700	△ 112,600	△ 1.8
	教育費	17,793,800	△ 1,188,400	18,169,400	375,600	2.1	17,985,900	△ 183,500	△ 1.0
	公債費	12,531,600	194,200	12,324,500	△ 207,100	△ 1.7	12,988,000	663,500	5.4
	予備費	300,000	0	300,000	0	0.0	300,000	0	0.0

平成22年度当初予算 民生費の主な増加理由

子ども手当(児童手当) 7,479百万円、生活保護費 1,328百万円、老人福祉施設整備費等補助金 1,102百万円、私立保育所費 977百万円、市立保育所費 149百万円



一般会計当初予算における保育所費の割合

(単位：千円)

	一般会計	うち 一般財源	保育所費	割合		
				一般会計 に対する 割合(%)	うち 一般財源	一般会計 一般財源 に対する 割合(%)
平成20年度	145,640,000	112,497,567	10,092,280	6.9	7,012,362	6.2
対前年度伸び率	△ 3.8	△ 2.5	3.3	—	2.4	—
平成21年度	150,800,000	115,812,803	10,053,270	6.7	6,850,360	5.9
対前年度伸び率	3.5	2.9	△ 0.4	—	△ 2.3	—
平成22年度	160,460,000	113,243,937	11,039,250	6.9	7,224,919	6.4
対前年度伸び率	6.4	△ 2.2	9.8	—	5.5	—

※保育所費の内容：

一般職人件費・非常勤一般職報酬・臨時職員賃金(いずれも市立保育園勤務の職員)、
市立保育所費(管理運営費、整備費)、私立保育所費(運営費、運営費補助金、施設整備費補助金など)、
一時預かり事業費

市債残高(一般会計)

(単位：千円)

	年度末残高
平成18年度	114,048,007
平成19年度	115,335,571
平成20年度	113,355,937

平成22年度当初予算における福祉見直し

①敬老事業等の見直し

- ・敬老祝金(75歳：5,000円、85歳：10,000円、95歳：30,000円、100歳以上：50,000円)の廃止
- ・敬老記念品購入券交付の一部廃止(70歳：5,000円→廃止)
- ・敬老行事交付金の対象年齢の引き上げ(70歳以上→75歳以上)
- ・その他、ひとり暮らし老人無料入浴券交付、はり・きゅうマッサージ等施術費助成についても見直し

②国民健康保険料の改定

- ・国民健康保険料均等割額を9,500円引き上げ
(例：40歳から64歳の場合 31,560円→41,060円)